

大和市 つどいの広場事業 こども〜る鶴間通信【No.170】

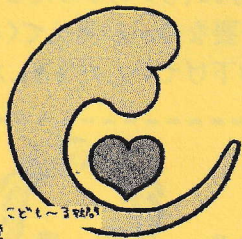
2021.11.1 こども〜る鶴間 発行



Mail



URL



《運営》
認定 NPO 法人
地域家族しんちゃんハウス

- ☆子育て親子の交流つどいの広場の提供
- ☆子育てに関する相談・援助
- ☆地域の子育て関連情報の提供
- ☆講習会

利用対象者

- ★乳幼児（0～3歳未満児）とその親（保護者）
- ★妊婦さん

《お問い合わせ》

電話：090-3685-2288(こども〜るフォン)
場所：イオンモール大和4 F (ライトコート側)
時間：AM10:30～PM5:30 (月曜日～日曜日)

11月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 絵本講座 (10:30～14:00) 保. 絵/保. 経	3 管理栄養士 (14:00～17:30) 保. 経/保. 栄	4 管理栄養士 (14:00～17:30) 保健師による育児相談 (14:00～16:00) 保. 経/保. 栄	5 発育講座 (14:00～17:30) 保. 経/保. 子	6 看. 経/子. 保
7	8	9 大和市保育士 による育児相談 (13:30～16:00) 保. 経/保. 子	10	11 保健師による育児相談 (13:30～16:00) 保. 保/子. 栄	12 ♥社会福祉士による ワンポイント講座 (13:30～14:30) 保. 保/保. 経	13 子. 保/保. 経
14	15 管理栄養士 (14:00～17:30) 保. 経/看. 経	16 保. 経/保. 子	17 保. 経/保. 経	18 管理栄養士 (14:00～17:30) 保. 経/子. 栄	19 保. 経/保. 経	20 看. 保/保. 経
21	22 発育講座 (14:00～17:30) 保. 保/栄. 子	23 管理栄養士 (14:00～17:30) 保. 保/栄. 経	24 親子のタッチケア (11:00～11:30) 保. 保/保. 経	25 絵本読み聞かせ (15:00～15:15) 管理栄養士 (14:00～17:30) 保. 保/栄. 子	26 ♥社会福祉士による ワンポイント講座 (13:30～14:30) 保. 経/保. 経	27 保. 経/保. 子
28	29 大和市保育士 による育児相談 (13:30～16:00) 保. 保/栄. 子	30 保. 経/保. 子	各時間8人・入替制 (各時間毎に消毒タイムが入ります) ①10:30～11:30②12:00～13:00 ③13:30～14:30④15:00～16:00 ⑤16:30～17:30		保=保育士 栄=栄養士 看=看護師 助=助産師 絵=絵本講師 子=子育てアドバイザー 経=子育て経験者	

大和市保育士による育児相談 (13:30～16:00)
 親子のタッチケア (11:00～11:30)
 保育ボランティアさんによる手遊び (10:30～10:45)
 発育講座 (14:00～17:30)
 保健師による育児相談
 管理栄養士の日 (時間はカレンダー参照)
 絵本相談・講座・絵本読み聞かせ
 ♥社会福祉士によるワンポイント講座 (13:30～14:30)

☆こども〜る鶴間のライトはなぜ暗くしてあるかご存知ですか？赤ちゃんの脳活動に最適にしてあるからです。大人は明るいのが良いかもしれませんが、赤ちゃんには違います。光の刺激が強かったり多かったりすると興奮してしまうのです。



地域家族しんちゃんハウスが
インスタグラムはじめました！！
【地域家族しんちゃんハウス】
という名で『大切なこと』を
発信しています！
こちらから見るができます。



世の中に子育てほど尊い仕事はありません。
私たちの未来を創ることであり、
未来の幸せを可能にする仕事だから。



～笑顔ではぐくねっと～スキルアップ講座より

子どもと自然について



昔は隣り合わせだった子どもと自然。今の子どもたちを取り巻く環境には自然がどれくらいあるのだろう。子どもと自然について考えることで、子どもたちにとって何が大切で、何が必要なのかが見えてくる。昨年も講話頂いた教育学者の高橋先生に、今年もまた見えないものの尊さを掘り下げていただきました。

1. 子どもが育つ環境の大きな変化

- 子どもの視線の中に大人が働く姿があった 1970 年代、それ以降、どんどん地域や家庭から「生産の場」が消えて行くと、労働の苦勞や大変さが見えない社会へと。農家が減り泥だらけの野菜はなくなり、買ったほうが早く安い時代が修理する職人を減らしていった。(アメリカからの波)
- 高速化されたメディア産業が増えることで、「良いものを長く使う」より、「安くして便利なものを買って換える」時代へ。コミュニケーションの形も変化、高齢者の孤独を癒す家族や孫→孤独を癒すペット→掃除や話し相手をするロボットの開発へ。LINE や zoom でオンラインのやりとりが増えることで、五感が喪失されている(手で触る、匂いを嗅ぐなど)。
- 日本人は昔から林や森に神々を感じてきた。そこにある尊さは具体的に説明できないが、それが日本人の心の中心にある宗教観なのだと思う。しかし、その森の木々が伐採されたり荒れ果てたりすると、この宗教観はどこへいってしまうのだろう。自然と接する機会がなくなることで人間の子ども達の宗教観(スピリチュアリティ)は消滅してしまうのか。

スピリチュアリティってなに？

*スピリチュアリティとは自然が持っている畏れ、霊的な生命の根っこのようなものの事とする。自然と繋がる事で何かが充電されて人間の生は強くなっていく。逆に、この大地や自然から切り離されると情報だけがフワフワと宙ぶらりんになってしまう。つまり、人工的な空間のみで育つと、自然のエネルギーが充電できず生活実感が湧かなくなり、弱くなってしまふ。見えないものを感じたり想像したりする力を持つということは、人間が強く生きるためにとっても重要。

*自然とは人間がわかり尽くすことのできない事：人生・社会・世の中・自然など、勉強だけでは理解できない肌で感じて身につくもの、理屈ではないもの/理屈の限界を超えてそこにあるもの、それが自然：スピリチュアリティ。例えば自然の中に身を置いていると、良いことをずっとしていても報われないことがある、頑張っても頑張っても達成できないこともある、しかし人工空間で奇跡が起こったり努力は必ず報われる物語が身近になると、生の底が抜け生活実感(リアリティ)を失い、死を簡単に受け入れるように。



大地

●動物は自殺しない、人間も同様に自己保存能力が DNA にインプットされて生まれるが、言葉を話し知性を身につけたがゆえ自己保存ができない状況になることも。言葉によって助けることもできるが傷つけたり死に至らす事もある。文化の尊さは光の方ばかり見えてしまふが、闇の部分があることをもっと自覚すべき。

2. 子どものことを科学的に考えてみる

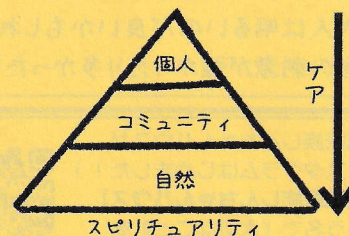
脳の基本的な構造と機能は 10 歳前後にほぼ完成する。その後でも学習によってリカバーすることが可能と言われているが、「感受性期」と呼ばれる3歳から 10 歳くらいの子供の細胞はある脳機能を自然に獲得する為、ここの部分は大人になってからのリカバーは難しい。だから感覚的なものはこの頃までに磨く必要がある(例えば音感など)。このことから、この感受性期に自然と接する経験は、その後大きく作用することがわかる。人間の無意識に作用するという事。



3. 自然中心から人間中心へと変化した 江戸時代のエコロジーは進んでいた「もったいない」の精神。手間ひまをかけて作り出したものを長い年月で大切に使う。この精神は子育てにも通じ、家族だけでなく地域の人やもの、自然が時間をかけて手をかけて自然と一人前の大人に仕込んでいく社会。周りを見て子供が自分で自然に熟成するのを大人たちは待って見守る、多世代間の相互交流。現代は子育てにも効率性が求められ小さい頃から子供への適切な教育が施される。

4. 自然の持っている力を子育てに

自然は単なる資源や建築材料ではない、大地・水・森林・空気はヒトの生命や心を守り再生させ永續させる命の源。子どもの育ちを下から支える自然とコミュニティがあり、もっと下にはスピリチュアリティがある。ケア(生を肯定し、支える営み)とは「個人」という存在を、コミュニティや自然、そしてその底にあるスピリチュアリティの次元に繋いでゆく事なのではないか。最近ではメディアでもよく目にする SDGs、未来に向けて自然をどう繋いでいくのか、時代は変化し続けるのだから、私たちもそれに対応し、より良い未来につなぐためのケアを考えたい。



講師紹介
 たかひし まさる
高橋 勝 先生
 横浜国立大学名誉教授、
 大和市健康都市大学名誉
 教授。専門は教育哲学で数々
 の著書あり近年の著作は
 「応答する<生>のために」

